

1. 用紙設定ダイアログ



用紙サイズ	画素数
S	1280 × 960
L	1280 × 1676

各用紙に出力するための画像画素数を示します。

< 図 24. 用紙設定ダイアログ >

- 1) 用紙サイズ
用紙のサイズを選択します。
用紙サイズ別画素数を表に示します。
- 2) プリント画素数
各用紙サイズに対してユーザーに開放される画素数を表示します。
- 3) 解像度
プリンタの解像度を表示します (325ppi 固定)。
- 4) 用紙の向き
用紙の向きを設定します。
- 5) 部数
設定値の数だけ同じ画像をプリントします。
* 通常複数ページプリントするときは例のようになります。
(例) 3 ページを 2 部印刷 出力結果: 1p 1p 2p 2p 3p 3p
* アプリケーションによっては、上記のように転送しない場合があります。
(例) 3 ページを 2 部印刷 出力結果: 1p 2p 3p 1p 2p 3p になるように、アプリケーションが一部ずつ 2 回出力する。
- 6) 連続プリント
ON 時は、ペーパーまたはインクシートがなくなるまで同じ画像を印刷します。
印刷を中止する場合は、RESET キーを押してください。
* アプリケーションから部数を設定しても連続プリントが優先になります。
- 7) 拡大率
拡大縮小の値を設定します。(設定範囲 25-400%)
- 8) 全て初期値に戻す
用紙、オプション、色調整の各ダイアログ中の、全ての設定のデータを初期値に戻します。
- 9) 全ての設定をロード
用紙、オプション、色調整の各ダイアログ中の、全ての設定のデータをロードします。
- 10) 全ての設定をセーブ
用紙、オプション、色調整の各ダイアログ中の、全ての設定のデータをセーブします。
- 11) バージョン情報ボタン
プリンタドライバのバージョン情報を表示します。
- 12) 残量
インクシートの残量を表示します (単位: パーセント)。残量が少なくなるほどバーの長さが短くなります。
* Windows98/Millennium の場合、プリント中には残量表示できません。プリントする前、またはプリント終了後、確認してください。

2. オプション設定ダイアログ



< 図 25 . オプション設定ダイアログ >

1) 輪郭補正

ソフト / ノーマル / ハード / ユーザ定義

輪郭補正の強さを変更できます。ユーザ定義選択時は係数・オフセット設定値を変更することができます。

*係数 : この値によって輪郭を補正する強さが変わります。

柔らかい 0 ~ <設定範囲> ~ 31 はっきり

*オフセット: この値によって、印画したい画像の中で、輪郭と見なされる画像の範囲を変更することができます。

この値を小さくすると、印画された画像は詳細部が強調されざらついた感じになります。

この値を大きくすると、白と黒の差のようにメリハリの利いた部分に輪郭補正が効くようになるので、なめらかな感じの印画にすることが出来ます。

ざらついた感じ 0 ~ <設定範囲> ~ 15 なめらかな感じ

2) 印画モード

ファースト : 高速モードで印刷します。

ファイン : 高画質モードで印刷します。

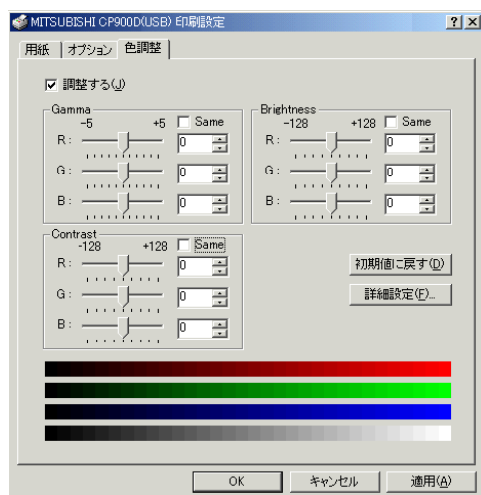
3) マージンカットする

余白をカットします。

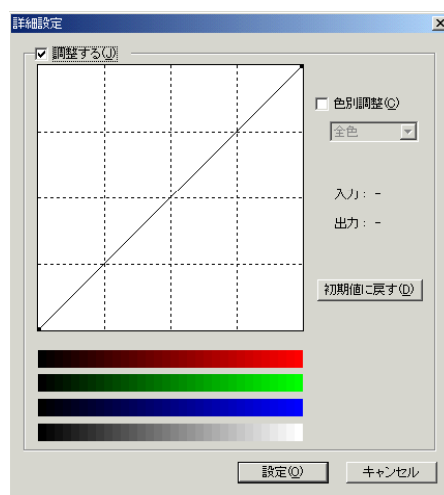
4) 初期値に戻す

オプションダイアログ中の全ての調整値を初期値に戻します。

3. 色調整



< 図 26-1 . 色調整ダイアログ >



< 図 26-2 . 詳細設定ダイアログ >

3.1. 色調整ダイアログ

1) 調整する

チェックなしの状態では、演算処理を行わないので処理速度が上がります。

2) Gamma 画像の中間調部の濃度を調整します。調整値 (-5 ~ +5)

Gamma の値が小さいほど、中間調部が暗くなります。

Same チェックボックス

ON : R, G, B を同値に設定します。

OFF : R, G, B を異なった値に設定します。

3) Brightness 画像のブライトネスを調整します。調整値 (-128 ~ +128)

Brightness の値が小さいほど、画像全体が暗くなります。

$$R'(x) = R(x) + \text{Brightness}(R)$$

$$G'(x) = G(x) + \text{Brightness}(G)$$

$$B'(x) = B(x) + \text{Brightness}(B)$$

Same チェックボックス

ON : R, G, B を同値に設定します。

OFF : R, G, B を異なった値に設定します。

4) Contrast 画像のコントラストを調整します。調整値 (-128 ~ +128)

Contrast 0

$$R'(x) = R(x) + (\text{Contrast}(R) / 128) \times x$$

$$G'(x) = G(x) + (\text{Contrast}(G) / 128) \times x$$

$$B'(x) = B(x) + (\text{Contrast}(B) / 128) \times x$$

Contrast < 0

$$R'(x) = R(x) + (\text{Contrast}(R) / 128) \times (x/2)$$

$$G'(x) = G(x) + (\text{Contrast}(G) / 128) \times (x/2)$$

$$B'(x) = B(x) + (\text{Contrast}(B) / 128) \times (x/2)$$

Same チェックボックス

ON : R, G, B を同値に設定します。

OFF : R, G, B を異なった値に設定します。

5) 詳細設定 トーンカーブで、より細かい色調整を行います。

6) 初期値に戻す

色調整ダイアログの全ての調整値を0に戻します。

3.2. 詳細設定ダイアログ

1) 調整する

チェックなしの状態では、演算処理を行わないので処理速度が上がります。

2) 色別調整

ON : RGB 各色を個別に調整します。

OFF : RGB 各色を同様に調整します。

3) 調整色選択

色別調整時、調整色を選択します。

4) 入出力値表示

調整ポイントの入力 (調整前階調値) 出力 (調整後階調値) を表示します。

5) 初期値に戻す

全てのトーンカーブを (0, 0) - (255, 255) のリニアな直線に戻します。

4. エラー表示

No.	エラー表示	ボタン	処理内容
(1)-1 CPD900JW のみ	プリンタの電源が入っていません。 またはケーブルが接続されていま せん。エラー解除後ＯＫボタンク リックで再開します。	ＯＫ キャンセル	エラー解除後ＯＫクリックするとダイアログが消え、自動的 に印画処理を再開する。エラー解除せず、ＯＫクリックする とダイアログを再度表示する。エラー解除する／しないにか かわらずキャンセルクリックするとダイアログが消え、プリ ントジョブも消える。
(1)-2 CPD900JNO のみ	プリンタの電源が入っていません。 またはケーブルが接続されていま せん。エラー解除後ＯＫボタンク リックで再開します。	ＯＫ	エラー解除後ＯＫクリックするとダイアログが消 え、自動的に印画処理を再開する。エラー解除せず ＯＫクリックするとダイアログが消えるのみ。プ リントジョブはスプーラに蓄積される。
(2)-1 CPD900JW のみ	プリンタの電源が入っていません。 またはケーブルが接続されていま せん。	キャンセル	エラー解除するだけではダイアログはそのまま。エラー解除 する／しないにかかわらずキャンセルクリックすると、ダイ アログが消え、プリントジョブも消える。
(2)-2 CPD900JNO のみ	プリンタの電源が入っていません。 またはケーブルが接続されていま せん。	ＯＫ	エラー解除するとダイアログが消え、自動的に印画処理を再 開する。エラー解除せずＯＫクリックするとダイアログが消 えるのみ。プリントジョブはスプーラに蓄積される。
(3)	プリンタのドアが開いています。エ ラー解除後再開します。	キャンセル	エラー解除するとダイアログが消え、自動的に印画 処理を再開する。エラー解除せずキャンセルクリッ クすると、印画処理を中止する。
(4)	用紙切れです。エラー解除後再開し ます。	キャンセル	エラー解除するとダイアログが消え、自動的に印画 処理を再開する。エラー解除せずキャンセルクリッ クすると、印画処理を中止する。
(5)	プリンタにエラーが起きました。 エラー解除後再開します。	キャンセル	エラー解除するとダイアログが消え、自動的に印画 処理を再開する。エラー解除せずキャンセルクリッ クすると、印画処理を中止する。
(6)	シートカートリッジが正しく装着 されていません。エラー解除後再開 します。	キャンセル	エラー解除するとダイアログが消え、自動的に印画 処理を再開する。エラー解除せずキャンセルクリッ クすると、印画処理を中止する。
(7)	インクシート切れです。エラー解除 後再開します。	キャンセル	エラー解除するとダイアログが消え、自動的に印画 処理を再開する。エラー解除せずキャンセルクリッ クすると、印画処理を中止する。
(8)	使用できないインクシートを検出 しました。エラー解除後再開しま す。	キャンセル	エラー解除するとダイアログが消え、自動的に印画 処理を再開する。エラー解除せずキャンセルクリッ クすると、印画処理を中止する。
(9)	インクシート情報が検出できませ ん。エラー解除後再開します。	キャンセル	エラー解除するとダイアログが消え、自動的に印画 処理を再開する。エラー解除せずキャンセルクリッ クすると、印画処理を中止する。
(10)	プリント用紙とインクシートの組 み合わせに誤りがあります。エラー 解除後再開します。	キャンセル	エラー解除するとダイアログが消え、自動的に印画 処理を再開する。エラー解除せずキャンセルクリッ クすると、印画処理を中止する。
(11)	紙詰まりです。エラー解除後再開し ます。	キャンセル	エラー解除するとダイアログが消え、自動的に印画 処理を再開する。エラー解除せずキャンセルクリッ クすると、印画処理を中止する。

* 以下のオペレーティングシステムや設定以外でプリンタをご使用の場合は、エラー表示を行わない場合があります。

インターフェイス	オペレーティングシステム	設定
USB	Windows98	「このプリンタで双方向通信機能をサ ポートする」に設定されている。
	WindowsMillennium	
	Windows2000	
	WindowsXP	

注意事項

1. 全てのドライバに共通する項目

1) スプールファイル用のハードディスクの確保

スプールファイル用のハードディスクの容量を、使用されるプリンタと印画枚数にあわせ十分確保してください。不足した場合正しく印画できないことがあります。通常、スプールファイル用ドライブはウィンドウズシステムのドライブと同じドライブです。

2) 用紙サイズが小さいプリンタの印字テスト

インストール時にテストページを印刷すると画像の一部が切れます。この場合は、インストール後に拡大率を小さく調整してから印刷してください。

3) プリンタ操作

プリンタ操作については、本体取扱説明書を参照してください。

印画データ転送中および印画実行中にプリンタの電源を切らないでください。

やむなく、電源がOFFした場合、ホストコンピュータの再起動が必要となる場合があります。

(印刷ドキュメントの削除が実行できない場合、ホストコンピュータの再起動が必要です。)

4) 色調整の適用範囲について

色調整は背景を含む印画範囲全体に適用されます。

5) 「プリンタに直接印刷データを送る」の設定について

プリンタに直接印刷データを送る設定を選択した場合、一部のアプリケーションでオブジェクトが正しく印画されない場合があります。この場合は、「印刷ジョブをスプールし、プログラムの処理を高速に行う」を選択して印刷を行ってください。

プリンタに直接印刷データを送る設定

CPD900JW : プリンタプロパティシート「詳細」ページ内の「スプールの設定」

CPD900JN0 : プリンタプロパティシート「詳細設定」ページ内

6) 連続プリント印刷を中止させる方法

連続プリントを中止させる場合、プリンタのRESETキーを押しながらFEED&CUTキーを押してください。次の画像が印刷される場合は、再度RESETキーを押しながらFEED&CUTキーを押してください。

7) ホストコンピュータとプリンタの接続について

プリンタとパソコンは1:1で接続してください。

データ転送中にインターフェースケーブルは抜かないでください。

8) USB接続するためのパソコン条件

Windows98/Windows Millennium/Windows2000/WindowsXP プレインストールタイプのパソコン、パソコンメーカーによりUSB動作が保障されているものをご使用ください。

9) USBケーブルの接続

プリンタドライバのインストール後にUSBケーブルを抜き差しする場合は、ケーブルを抜いてから5秒以上の間隔を空けてください。間隔をあけずに抜き差しを行うと正常に動作しない場合があります。

2. CPD900JW

1) USBのスプール設定

プリンタのプロパティより「このプリンタの双方向通信機能をサポートしない」は選択しないでください。

2) USBでプリンタのプロパティの印刷先のポートに不明なデバイスと表示された場合

正しい手順でインストールを行っても、プリンタのプロパティの印刷先ポートにMPUSB1: (不明なデバイス) と表示される場合があります。印刷動作には問題ありません。

3. CPD900JN0

1) 印刷実行時、「パラメータの値は無効です。」と表示された場合は、以下のような操作を行ってください。

a) システムプロパティのハードウェアタブより、デバイスマネージャを選択します。

b) ハードウェアの変更スキャンを実行します。

お客様の目的に合った使用法

1. プリント画の輪郭強調を自由に設定したい場合

オプション設定画面の"輪郭補正"のユーザ定義を選んでください。そのとき、係数とオフセット値が設定できるようになります。設定例を以下に示します。

ソフト : 係数 1、オフセット 14

プリントしたい画像にノイズ成分が多い(ざらついた感じ)場合や、画像の輪郭をぼかしたい時にこの設定を選びます。

ハード : 係数 4、オフセット:2

プリントしたい画像の詳細部がぼけてしまっているときにその部分を浮き出させたいときや、画像の輪郭をはっきりさせたいときにこの設定を選びます。

2. プリント画の色調整をしたい場合

以下の設定を行ってもモニタ表示画像には反映されません。

1) プリント画全体の濃度を濃く(暗く)したい場合

色調整ダイアログの"Brightness"の値を小さくします。

2) プリント画のピントが甘い(コントラストが弱い)場合

色調整ダイアログの"Contrast"の値を大きくします。

画像のコントラストが強くなります。

3) プリント画の色目を変えたい場合

色調整ダイアログの"Brightness"の値を変更します。

赤みをつける : 色調整ダイアログの"R"の値を大きくします

緑みをつける : 色調整ダイアログの"G"の値を大きくします

青みをつける : 色調整ダイアログの"B"の値を大きくします

4) プリント画の色調整を詳細に行う場合

詳細設定ダイアログのグラフをマウスで動かし、画像全体の濃度を任意の曲線に調整することが出来ます。

入力値に対して、出力値を小さくすると濃度が高く(暗く)、大きくすると濃度が低く(明るく)なります。

禁止事項について

本ドライバに対して、リバースエンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブルすることを禁止いたします。

免責について

動作環境によっては正常に動作しない場合もあります。また本製品に関していかなる損害(逸失利益、特別な事情から生じる損害等)が発生しても、一切責任を負わないものとします。